

OpenRTM-aist 関連仕様の提案プロセス
Ver 1.0.0

2013 年 12 月 26 日
日本ロボット工業会
RT ミドルウェア国際標準化専門委員会

1. 対象とする OpenRTM-aist 関連仕様

OpenRTM-aist の一部として配布されている、データ型 (BasicDataType.idl 等)、デバイスインタフェース (IMU.idl 等) の仕様、NEDO 次世代ロボット知能化技術開発プロジェクトで策定した作業、移動、コミュニケーションの各共通インタフェース、その他関連する既存仕様及び新規仕様の提案を対象とする。

RT ミドルウェアの仕様に関しては、OMG での協議が必要となるため、対象外とする。

2. 提案プロセス

A) 提案

別紙の様式に従って提案内容をまとめ、提案を openrtm-users ML に投稿し、意見を募る。意見を募集する期間は最低 1 ヶ月とし、期限は提案者が設定できるものとする。提案者は必要に応じてサンプル実装も提供する。なお、提案に対応する規格等が既に存在する場合、可能な限り既存規格に基づいた提案を行うこと。

B) ML 上での議論

提案内容に関する意見の対立が生じた場合、ML 上での議論によって解決を図る。提案者は ML 上での議論をとりまとめ、必要に応じて提案内容の修正、場合によっては取り下げを行う。提案内容の修正を行った場合は、修正が軽微である場合を除き、少なくとも 1 週間新たな意見を受け付ける期間を設ける。

C) RTM 国際標準化委員会での審議

提案者は RTM 国際標準化委員会に出席し、提案内容、ML 上での議論の内容について説明する。委員会は審議を行って、採択とするか否かを判断する。

D) 発効

提案が採択された場合、OpenRTM-aist 開発チームは 1 ヶ月以内に提案内容を反映させたソースコードを作成して新たなバージョン番号を設定し、オフィシャルサイトから入手可能な状態にする。

以上

更新履歴

- 2013 年 12 月 26 日 第 1.0.0 版 JARA 2013 年度第 4 回 RTM 国際標準化専門委員会にて承認

(別紙)

1. タイトル

2. 提案者名・メールアドレス

3. 履歴

- i. 提案日
- ii. 締切日（提案日から1ヶ月以降かつ最終改定日から1週間以降）
- iii. 改訂履歴

4. 概要

5. 提案理由

6. 仕様

7. 提案が後方互換性に及ぼす影響

8. その他特記事項